

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【いじめ0週間】	今年度は、児童会を中心にプロジェクトを立ち上げ、いじめ0のキャラクターの募集や児童へのアンケート、各学級でスローガンを考え、クラス写真と共に掲示することなどを実施した。また、2学期には、アンケートの実施と、いじめ0にするためにできたこと・がんばったことをカードに書き、1学期にクラスで考えたスローガンを意識して生活できたかを振り返った。
	成果 プロジェクトチームを立ち上げ、児童が中心となって計画・実行できたことで、児童一人一人が自分たちの問題としていじめについて考えるきっかけをつくることができた。また、各クラスで考えたスローガンについて、振り返りを行うことにより、行動を省みて、今後の行動を変えていこうとする新たなめあてを立てるきっかけをつくることができた。
	課題 児童が自分たちでいじめをなくすという意識をさらに強くできるよう、次年度以降も継続して活動する必要がある。
2 実践2 【授業における人権教育】	各学年で年度はじめに年間指導計画を確認し、主に国語科や社会科、道徳科の授業と関連付けて人権教育を行っている。6学年の道徳ではDVDアニメ『めぐみ』を視聴し、日本人拉致問題について考える授業を行った。その際にはワークシートを活用して、一人一人が人として尊重されるべき人権について意識を深められるように授業展開を工夫した。
	成果 今まで拉致問題等について知らなかった児童もいたので、それらを知る機会をもたせることができた。また、児童らも社会的な出来事と関連付けて人権を守ることの大切さを意識するようになってきた。
	課題 自分たちの人権を守り主張することも大切だが、同時に相手の人権に目を向けさせる指導が難しかった。今後もそれぞれの学年の教育活動における様々な場面で、自分と相手の人権について考える機会をもたせられるように継続して指導をしていきたい。